

図書館報

2020 WINTER No.48

SEASON



写真：図書館スタッフ力作の豆本。背表紙には請求記号シールが貼られるなど、実物をそのまま小さくしたかのような出来映えです。

ISSN:1349-3760



コラム 尹 秀一 教授



企画展示をふりかえって



Soka Book Wave 書評紹介 &
書庫利用講習会アンケート紹介



Library information 2020
WINTER - SPRING



コラム

ワールドランゲージセンター 尹秀一 教授

図書館は'知識の灯台'

小学4年生だっただろうか。それまで図書室にほとんど行くことがなかったが、放課後にふと入室して何気なく手にした本を読み始めた。いつの間にか引き込まれ読み終えた時に窓の外が夕焼け空だったこと、何とも言えない心地よい感じを抱いて帰宅したことを覚えている。それが読書に親しむ契機になり、今も図書館巡りを楽しみの一つにしている。八王子周辺を少し紹介すると、秋川市の中央図書館は広い敷地にキララホール（市民会館）と並ぶ現代的な建築デザインで、駐車場が多く確保されている。青梅市は駅前ビルにあり通勤通学や買い物などの市民に利便性を図り好評だという。福生市の図書館は「福生市文化の森」にあり、隣接する数寄屋造りの「福庵」ではお茶席体験が催される。

今、注目されるのが今年3月下旬に開館する昭島市の新・市民図書館だ。交通系ICカードによる利用登録やセルフ貸出機、Wifiなどが導入され、友好姉妹協定を結ぶ岩手県岩泉町の木材を使った温もりのある書架や椅子など工夫されている。同市には1974年製の新幹線の先頭車両を使った分室があり、'新幹線に乗れる図書室'として子どもたちに人気で鉄道ファンにも有名である。（新図書館の近くにあり車両は分室の役目を終える）それぞれ地域の特性を活かし個性豊かだ。

沖縄県の石垣島では赤レンガの屋根が美しい市立図書館を訪れた。地域の歴史や文化を紹介する展示があり、八重山諸島の歴史や台湾との交流など貴重な資料や写真を見る機会になった。大阪の中之島にある府立図書館は1904年に開館した歴史的建築物で重要文化財に指定されており、機会があればぜひお勧めしたい。東北大学での研究会で多賀城市の図書館が話題になり訪れた。駅前ビルにあり大手の書店やコーヒーショップなどと提携し、開放的な雰囲気ゆつたりと読書できるようになっている。

出張などで他の大学に行く機会があれば、時間が許す限り申請して図書館を見学している。京都の大学では春休みで利用者が少なく、広いフロアに学生数名が一人静かに本を読む光景が印象に残った。韓国の交流大学の一行が本学を訪問された際、都内の美術大学に同行し完成間近の図書館



昭島市・つつじが丘分室 2019.12 著者撮影

の新棟を見学した。壮麗な建物に圧倒され館内のレイアウトや蔵書を興味深く拝見した。

各地を巡っていると思わぬ一書に出会うことがある。最近では『在日一世 故郷は遠すぎた』（李明彦著、リトルモア、2005年）だ。北海道から沖縄県まで在日韓国・朝鮮人一世90人の人生の軌跡を聞き取った写真集である。戦前戦後に塗炭の苦しみをなめた一人ひとりの姿が映し出され、在日二世の私には両親の姿が重なり偲ばれた。うれしいサプライズもある。シンガポールでは学生時代に留学した大学を数十年ぶりに再訪し、大学史に自分に関する記事と写真を見つけ感慨無量だった。また先年、久しぶりに帰省したら何と実家のすぐ近くに瀟洒な建物の図書館ができていた。町内に本屋がなく大きい書店には車で40分ほどの街に出なければならず、町民の憩いの場になっているという。

図書館は'知識の灯台'といわれる。乳幼児から高齢者まで幅広い世代に日常生活でこれほど利用される施設はないだろう。生涯学習社会における大切なインフラであり、とりわけ地方では文字通り'知識の灯台'としての役割を担っている。それを誰もが享受できることが平穏で豊かな社会の証であり、インターネットやAIなど急速に変化する情報化社会にあっても色褪せることはない。

私は学生のみなさんに図書館を自分の書斎として活用しようと話している。さまざまな分野の書籍や雑誌、辞書などが揃ったなんとすばらしい書斎だろう。本を借りたり資料を探すといった目的がなくても、書架を巡りながら本や雑誌を手にとってみるだけでも楽しい。本学の図書館では長年にわたり「全学読書運動 (Soka Book Wave)」、「学生選書ツアー」をはじめ数多くのイベントが開催されている。このうち「学生選書ツアー」は図書館に配架したい本を学生自ら選ぶというもので特筆される。日本を代表する書店を訪れる機会でありお勧めしたい。（昨年は9月に東京駅近くの丸善丸の内本店で開催）

創立者の池田大作先生は、折に触れて活字文化の興隆を訴えられ、創大生のみなさんに「読書と語学への挑戦を」と繰り返し述べられている。2004年1月には中央図書館を訪れて懸命に学問に取り組む学生を激励され、「読書は 黄金の輝き」、「読書は 勝利者の源泉」をはじめ本学の図書館指針となるお言葉を贈られている。創立者のお心は、ご自身が戦争期の青年時代に思うように勉学できなかった社会状況があり、創大生のみなさんには思う存分本を読んでほしいと願っておられると拝察する。私たちは大学生活において図書館を'知識の灯台'として十二分に活用してお応えしたい。最後に隣国の言葉を紹介したい。「一日不讀書 口中生荊棘」（一日本を読まなければ口の中にトゲができる）

新入生熱烈歓迎
ようこそ! 中央図書館へ!!

創価大学中央図書館には、必要な専門書はもちろん、小説や旅行本、ファッションや音楽、芸術、一人暮らしに便利な料理の本や今話題の本etc.etc...。大学図書館とは思えないほどのレパトリー豊富な本を読むことが出来ます。

創価大生になったら、図書館を使わなきゃ**絶対ソン**です! 是非一度、中央図書館にお越しください!

4月企画展示
【図書館へようこそ】

4月の企画展示は、新入生向け企画として、**図書館の地図**を中心に、中央図書館の**パラエディー**豊かな図書を紹介しました。

5月企画展示
【レポート・論文の書き方】

こちらは毎年5月に行なっている企画展示。初めてレポートを書く新入生やや、今更レポートの書き方なんて聴けないと思っている学生の方にも気軽に読んでもらえるような図書を選びました。また期間限定電子ブックの丸善eBook Libraryの利用方法などについても紹介しました。



How to write good report and thesis
 レポート・論文の書き方

創価大学中央図書館5月企画展示
 展示期間 2019年5月4日～5月31日
 展示場所 創価大学中央図書館1階

6月企画展示
【レオナルド・ダ・ヴィンチ没後500周年】

今年はイタリアを代表する芸術家・レオナルド・ダ・ヴィンチの没後500年にあたるといことで、「万能の天才」の生涯をたどれる展示を企画しました。創大中央図書館にある貴重資料や創立者のダ・ヴィンチに関するスピーチも紹介しました。



創価大学中央図書館6月企画展示

レオナルド・ダ・ヴィンチ
 没後500周年

世紀の天才、レオナルドがこの世を去ってから今年で500年。
 「マドリッド手稿」など、普段は見ることが少ない図書も展示しています。

2019.6.3 MON → 6.30 SUN

12月企画展示
【クラシックを図書館で】

2019年を締めくくる12月の展示はクラシック企画。カラヤンの演奏会映像を流したり、図書館データベース『Naxos Music Library』の視聴体験コーナーも設けました。また、毎年12月に創立者をお招きしての第九の演奏会に関する資料の展示も企画し、演奏会が無くなって久しい中でも、当時の雰囲気を感じてもらえるような展示にしました。



クラシックは図書館で

今年のカラヤン没後50年
 来賓はベートベンを祝250年



中央図書館12月企画展示
 2019/12/2～12/24

Sustainable Development Goals
SDGs 特集



明日の地球を守るのは君だ!

開催: 中央図書館1階
 2019/11/1～11/30



11月企画展示
【SDGs 特集】

この企画では、創価大学でも取り組みを推進しているSDGsについて、理解を深められるような図書を集めました。これからの日本や世界について考えるきっかけになるかもしれません。

Republic of Austria



日本とオーストリア 友好150周年

創価大学中央図書館10月企画展示
 2019.10.8 Tue ⇒ 10.31 Thu

今年で日本とオーストリアが国交を結んで150周年。オーストリアの文化や、日奥関係の歴史を学べる図書を展示しています。

創価大学中央図書館

10月企画展示
【日本・オーストリア友好150年】

今年、日本とオーストリアが友好関係を結んでより150周年という節目にちなんでの企画。この期間に国立西洋美術館で開催されていた『日本・オーストリア友好150周年 ハプスブルク展』展覧会のポスターを掲示したり、日本と関係の深いオーストリアの人物の紹介等を行いました。

ねこフェア
 猫と本を楽しむ



創価大学図書館9月企画展示
 展示期間 2019年9月1日～9月30日
 展示場所 創価大学中央図書館1階とフレイザー図書館

8月企画展示
【ムーミン&スヌーピー展 ムーミン、そして北欧&スヌーピーに学ぶ生き方】

幅広い世代に親しまれてきた二大キャラクター人気にあやかった企画展示。夏休み期間ということもあり、お子様から大人の方まで興味を持って見てくださる方が多かったです。



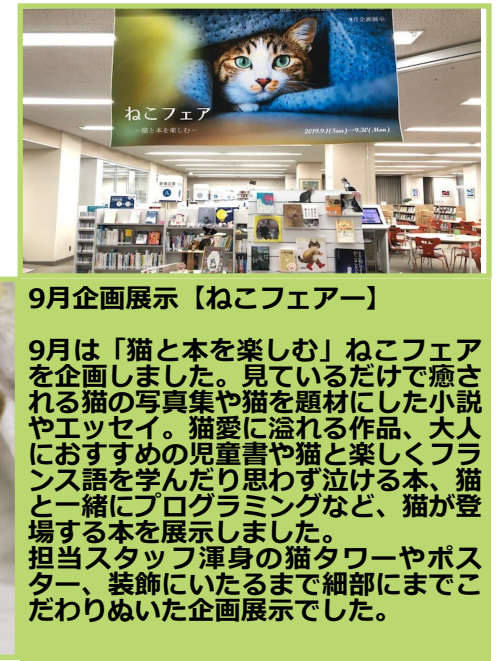
MOOMIN & SNOOPY展

今、話題の2大キャラクター

展示期間: 8月18日～31日

9月企画展示【ねこフェア】

9月は「猫と本を楽しむ」ねこフェアを企画しました。見ているだけで癒される猫の写真集や猫を題材にした小説やエッセイ。猫愛に溢れる作品、大人におすすめの児童書や猫と楽しくフランス語を学んだり思わず泣ける本、猫と一緒にプログラミングなど、猫が登場する本を展示しました。担当スタッフ渾身の猫タワーやポスター、装飾にいたるまで細部にまでこだわりぬいた企画展示でした。



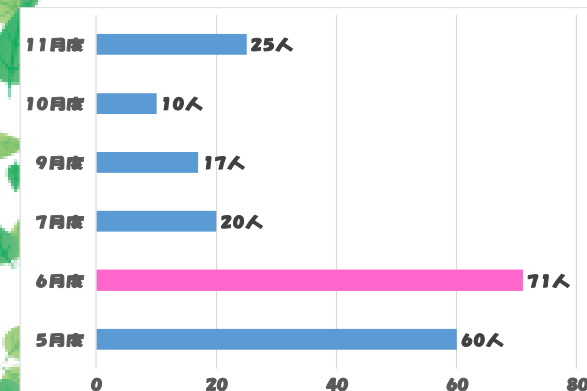
企画展示特集

～2019年をふりかえって～

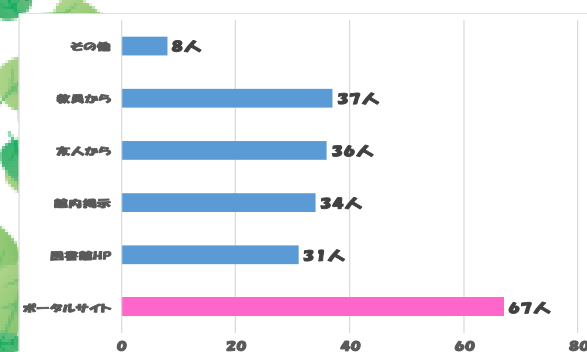
2019年度書庫利用講習会実施アンケート紹介

書庫利用講習会とは、卒業するまで書庫の中に自由に出入りできるようになる、というものです。以前は教員や院生しか入れなかった書庫ですが、学部生・短大生からの要望が高まったことを受けて、ほぼ毎月講習会(約1時間程度)を開催しています。今回は2019年度書庫利用講習会アンケートの集計結果と、講習会参加者の方々の声の一部を紹介させていただきます。書庫利用講習会に興味を持たれた方はぜひ来年度の書庫利用講習会にご参加ください！

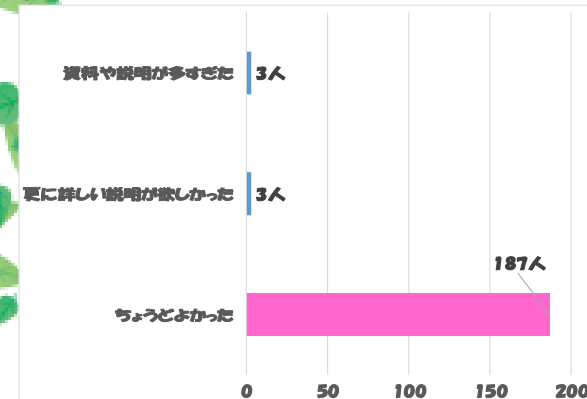
①2019年度書庫利用講習会参加人数



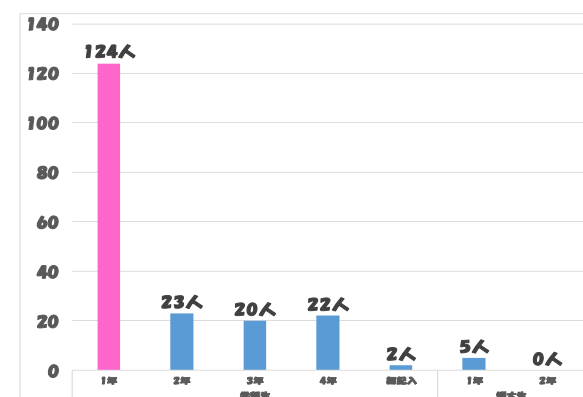
③講習会の開催日を何で知りましたか？



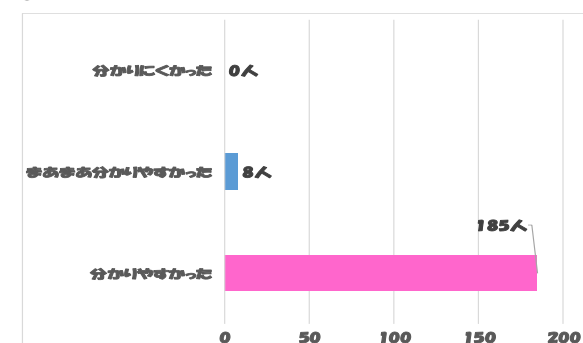
⑤配布資料や説明は…



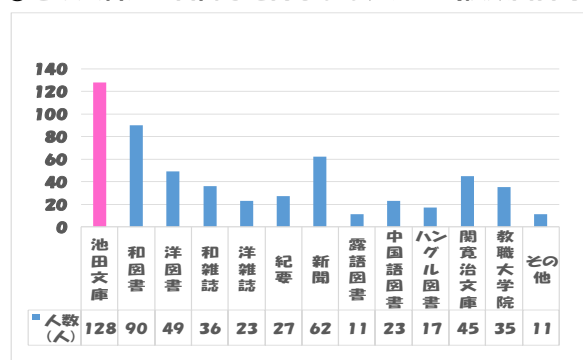
②所属・学年



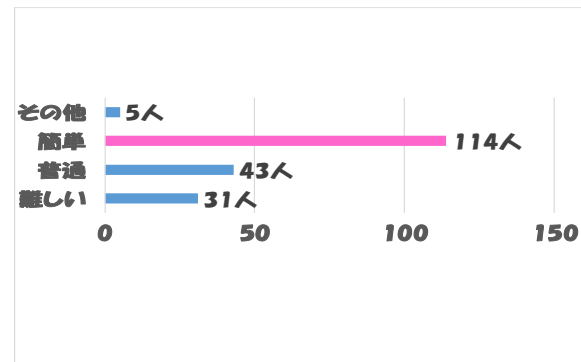
④講習会は分かりやすかったですか？



⑥どの資料に一番関心を持ちましたか？(複数回答可)



⑦確認テストの難易度はどうでしたか？



⑧主な感想

図書館の整備がすごすぎて、圧倒されました。テストも楽しかったです。ありがとうございました。

このような講習会の存在を知らない方もいらっしゃると思います。もっと大々的に宣伝すべきかとおもいます。講習会自体は分かりやすくとても楽しかったです。ありがとうございます。

通教生です。これまで数回スクーリングに参加していますが『書庫利用講習会』への参加は今回がはじめてです。大変有意義でした。残りの通教生在学期間で活用させていただきます。(夏季スクーリングに参加された通教生の方)

卒業してからも利用したいくらい豊富な資料数で圧倒されました。

ありがとうございました。卒論作成やゼミの研究資料にぜひ活用したいと思います。

司書の方とこんなに話すの初めてだったので、近く感じられ、また、どういう気持ちで働いているのか少しお聞きし、感動しました。

来年度のSoka Book Waveに参加してみませんか？

★Soka Book Wave(SBW)とは？

創価大学・創価女子短期大学から「読書の波」を起こそうとの学生の熱意で生まれた読書運動です。2005年から図書館と学生諸団体等が協力して実施しています。

★SBWはどんなことをしているの？

みなさんに読書感想文を書いていただいたり、読書がより楽しくなるようなイベントを開催しています。昨年は「哲学カフェ」や「本の読み方セミナー」、「ABDイベント」などのイベントを開催しました。

★SBWに参加するとどうなるの？

SBWに登録して、感想文の提出やイベントに参加することで、SBWポイントがたまります。ポイントを50ポイント集めると、**図書カード（500円分）**と交換できます。



SBWについて、もっと知りたいときはココ！

SBWに参加をするときはココから！

感想文も読むことができる！

SBWでは毎年たくさんの感想文が提出されます。感想文と言っても400字詰め原稿用紙で何枚にもなるようなものではなく、比較的短い文章での投稿が主です。文字数が少なくても参加できるので投稿しやすいのではないのでしょうか。読書が好きで、自分が読んだ本の魅力を伝えたい！と思っている方や、自分の文章力を高めたいと思っている方は、ぜひ挑戦してみてください。今号ではSBWに今年度参加された方の感想文の中から1作品をご紹介しますので、感想文を書く際の参考にしてください。

メルヘンポールさん 経済学科3年の感想文



書名：『トルストイの肖像画』 / レフ・トルストイ著；ナターリヤ・オレゴヴナ・トルスタヤ編・絵；ふみ子・デイヴィス訳

感想文：トルストイの日記や『幼年時代』『少年時代』『青年時代』などの自伝的小説から文章を抜き出して、右のページには文章、左のページにはイラストを記載している。作家の素顔がうかがえるような構成に仕

上げているのが特徴な書籍である。トルストイが当時、どのようにして生活していたのか、人生の生き方についてどのように考えていたのかを知ることができて、今後の自身の生き方に取り入れていくことができるためとても良かった。また、彼自身の幸福に対する考え方は、私がずっと考えていたことであり、幸福を得るための方法を説いていた部分は、とても共感した。「喜びを持って生きる」ことは頭では簡単に思うことはできないから、とても難しく感じるが、それを意識していけばこれからの自身を強く成長させるための資産になると感じた。

詳しくは図書館
Webサイトで！

中央図書館 開館日程

開館時間

休館	9:00 ~ 21:00
8:30 ~ 21:00	10:00 ~ 17:00

1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

学期末（春休み）長期貸出しのお知らせ

長い長い春休みが始まります。新年度を迎える前に心機一転、日々の忙しさで読まずに積まれていた本や、借りたまま読まずに返却してしまった本をこの機会に読んでみませんか？ 卒業対象者は返却期限日が異なるので注意してください。

長期貸出期間

2週間貸出者：学部生・短大生

2020年1月11日（土）～3月24日（火）

4週間貸出者：教職員・大学院生・通教生・創友会・市民利用

2020年1月11日（土）～3月10日（火）

一斉返却日 2020年4月8日（水）

※卒業予定者返却日：2020年2月14日（金）

※看護学部卒業予定者返却日：2020年2月17日（月）